

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 川崎汽船株式会社 上場取引所 東 名 福
 コード番号 9107 URL https://www.kline.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 明珍 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報グループ長 (氏名) 二口 正哉 TEL 03-3595-5189
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	372,396	△10.5	11,065	—	13,373	—	16,311	—
2019年3月期第2四半期	416,129	△28.1	△12,321	—	△21,329	—	△24,581	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 195百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △7,802百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	174.88	—
2019年3月期第2四半期	△263.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	910,735	213,259	12.7
2019年3月期	951,261	181,233	10.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 115,529百万円 2019年3月期 103,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日 (2019年10月31日) 公表しました「2020年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異及び剰余金の配当 (中間配当無配) に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	740,000	△11.6	6,000	—	5,000	—	11,000	—	117.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）“K” LINE HEAVY LIFT (GERMANY) GmbH

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

詳細は、[添付資料]12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	93,938,229株	2019年3月期	93,938,229株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	665,593株	2019年3月期	666,319株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	93,272,308株	2019年3月期2Q	93,271,983株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提につきましては、[添付資料]5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

2019年10月31日開催の決算説明会資料を、弊社ホームページ上に掲載しています。

（弊社（川崎汽船）ホームページ）

<http://www.kline.co.jp>

（投資家情報）

<http://www.kline.co.jp/ja/ir.html>

（決算説明会資料）

<http://www.kline.co.jp/ja/ir/library/presentation.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	14
最近における四半期ごとの業績の推移（連結）	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高 (億円)	4,161	3,724	△437 (△10.5%)
営業損益 (億円)	△123	111	234 (-)
経常損益 (億円)	△213	134	347 (-)
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (億円)	△246	163	409 (-)
為替レート(¥/US\$)(6ヶ月平均)	¥109.48	¥109.18	△¥0.30 (△0.3%)
燃料油価格(US\$/MT)(6ヶ月平均)	US\$437	US\$440	US\$3 (0.7%)

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の売上高は3,723億96百万円（前年同期比437億33百万円の減少）、営業利益は110億65百万円（前年同期は123億21百万円の営業損失）、経常利益は133億73百万円（前年同期は213億29百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163億11百万円（前年同期は245億81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績概況は次のとおりです。

(億円未満四捨五入)

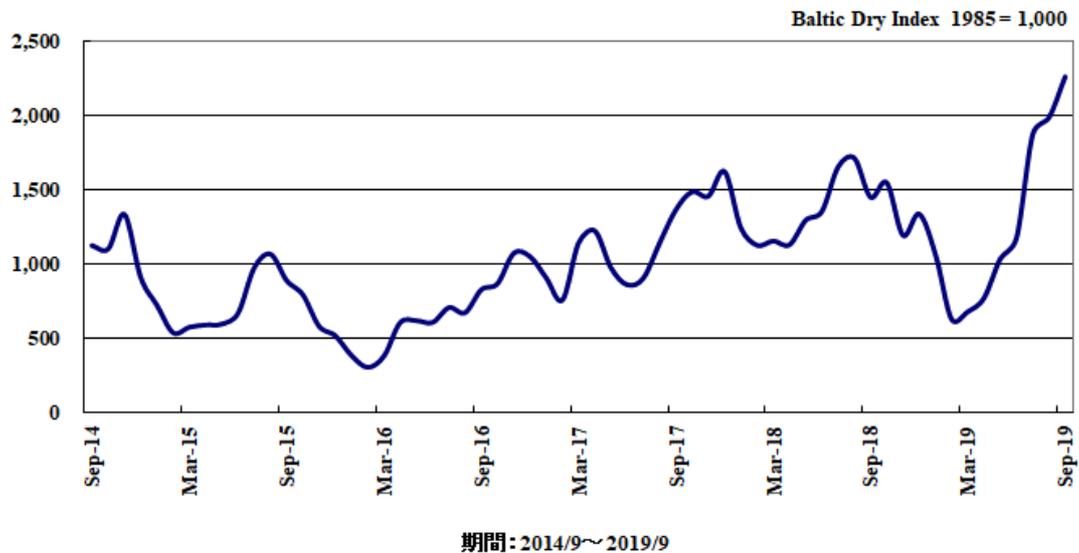
		前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減額 (増減率)
ドライバルク	売上高 (億円)	1,320	1,163	△156 (△11.9%)
	セグメント損益 (億円)	21	2	△19 (△90.5%)
エネルギー 資源	売上高 (億円)	420	438	18 (4.3%)
	セグメント損益 (億円)	16	46	30 (180.5%)
製品物流	売上高 (億円)	2,254	1,949	△304 (△13.5%)
	セグメント損益 (億円)	△231	105	335 (-)
その他	売上高 (億円)	168	173	5 (3.1%)
	セグメント損益 (億円)	10	7	△3 (△29.8%)
調整額	セグメント損益 (億円)	△30	△26	4 (-)
合計	売上高 (億円)	4,161	3,724	△437 (△10.5%)
	セグメント損益 (億円)	△213	134	347 (-)

①ドライバルクセグメント

[ドライバルク事業]

大型船ケーブサイズにおいてはブラジルから中国向けの鉄鉱石、中・小型船においては南米産の穀物輸送需要が強く、市況は回復基調をたどりました。一方備船市況の回復により、余剰船の解撤が見送られ、特に中・小型船において船舶需給の本格的な改善には至りませんでした。上半期前半の当社ドライバルク事業全体の業績は、昨年度後半の市況低迷の影響が残ったため、減収減益となりました。

ドライバルク市況 (Baltic Dry Index)



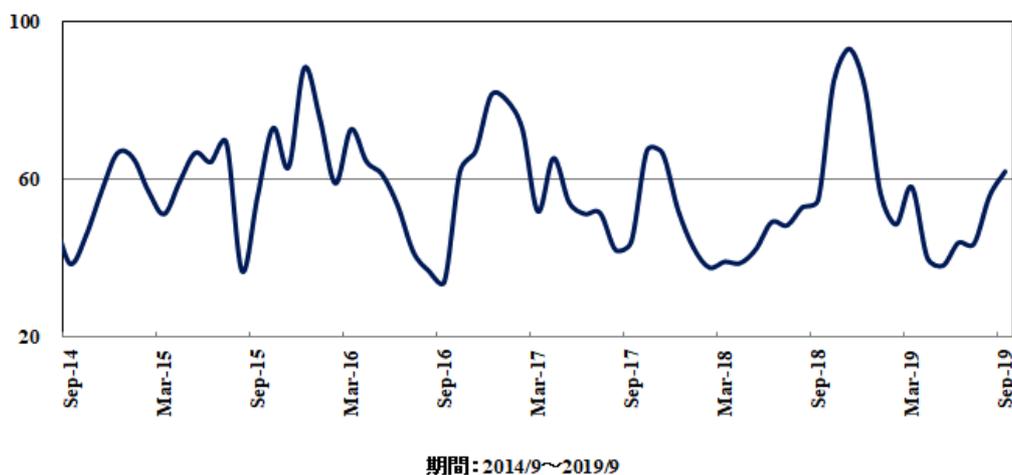
②エネルギー資源セグメント

[油槽船事業・電力炭船事業・液化天然ガス輸送船事業・海洋資源開発事業]

大型原油船、LPG船、電力炭船、LNG船、ドリルシップ（海洋掘削船）及びFPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）は中長期の備船契約を中心とした事業展開のもとで順調に稼働し、前年同期比で増収増益となりました。

また、オフショア支援船においては、船腹の需給バランスが改善、市況が回復し、損失が縮小しました。

タンカー市況 VLCC ワールドスケール (中東/日本)



③製品物流セグメント

[自動車船事業]

当社自動車船事業の輸送台数は、極東出し航路において安定した荷動きを維持した一方、三国間等における一部不採算航路の休止・改編を含む合理化により前年同期比で減少しました。一方で、運航効率の改善、運賃率の修復、船隊規模の最適化等、収支改善の取組みにより前年同期比で減収となりましたが、黒字に転換しました。

[物流事業]

国内物流事業においては、曳船事業、海陸一貫輸送、倉庫事業を中心に堅調に推移しました。一方で、海外物流事業におけるアジア域内及び欧米向け航空貨物の取扱高減少により、物流事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

[近海・内航事業]

近海事業においては、取扱輸送量が大幅に増加しました。内航事業においては、台風の影響を受けることが少なかったため、定期船の稼働率が改善しました。また、燃料油価格が下落したこと等により、前年同期比で増収増益となりました。

[コンテナ船事業]

当社持分法適用会社であるOCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. 社（以下、「ONE社」）の業績は、積高・消席率の回復、北米の長期契約運賃の改善、貨物ポートフォリオ改善、航路改編・合理化による運航費削減など収支改善への取組みにより、前年同期比で増収となり、黒字に転換しました。

当社に残るコンテナ船事業においては、前年同期比で減収となりましたが、事業移管に伴う一過性費用の減少により、損失は縮小しました。

④その他

その他には、船舶管理業、旅行代理店業及び不動産賃貸・管理業等が含まれており、前年同期比で増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度に比べ405億25百万円減少し、9,107億35百万円となりました。

負債の部は、その他流動負債の減少などにより前連結会計年度に比べ725億51百万円減少し、6,974億76百万円となりました。

純資産の部は、非支配株主持分の増加などにより前連結会計年度に比べ320億25百万円増加し、2,132億59百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前回予想 (2020年3月期 第1四半期決算発表時点)	今回予想 (2020年3月期 第2四半期決算発表時点)	増減額 (増減率)
売上高 (億円)	7,500	7,400	△100 (△1.3%)
営業損益 (億円)	60	60	— (—)
経常損益 (億円)	50	50	— (—)
親会社株主に帰属する 当期純損益 (億円)	110	110	— (—)

為替レート (¥/US\$)	¥108.67	¥108.58	△¥0.09 (△0.1%)
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$556	US\$485	△US\$71 (△12.8%)

ドライバルクセグメントの船腹需要は堅調、また大型船を中心に環境対応(スクラバー設置)工事件数が増大することによる供給量の減少により市況は今後も改善、収益も安定していくものと想定します。

エネルギー資源セグメントでは、引き続き中長期の傭船契約による安定収益を見込みます。

製品物流セグメントにおいては、自動車船事業は、米中貿易摩擦等の外的要因による需要の落ち込みを予想するも、運賃率改善、合理化効果の現出により今年度は収益の改善を見込みます。ONE社においては、特に欧州向け運賃市況が昨年度から悪化していますが、営業開始当初の混乱から脱却し、積高の確保、貨物ポートフォリオ最適化、配船合理化、一般管理費削減等の収支改善策を推進しており、収益の改善が見込まれます。

以上のとおり、ドライバルク、エネルギー資源セグメントを中心に市況は回復基調に入っていますが、本格的な船腹需給ギャップの解消には至らず、引き続き不透明な事業環境が見込まれます。しかしながら、当社グループでは更なるコスト削減や運航効率改善を推し進め、更なる収益改善に努めることで、通期での営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益については前回発表値を据え置くことといたします。

当社は経営計画の主要課題である持続的成長のための設備投資、企業体質の充実・強化に必要な内部留保等を勘案しつつ、安定的な配当を実施し、株主の皆さまへの利益還元を最大化することを重要課題と位置づけています。上期の連結業績は前回予想を上回りましたが、世界経済の減速による輸送需要の後退リスクもあり、通期連結業績予想の達成には予断を許さない事業環境となっています。全社一丸となって、より一層の業績向上に取り組む所存ですが、中間配当につきましては誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。期末配当につきましては現時点では引き続き未定とさせていただきます、通期の見通し及び財務状況を総合的に勘案し、予想可能となった段階で改めてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	143,201	117,737
受取手形及び営業未収金	62,722	62,155
原材料及び貯蔵品	26,258	23,827
繰延及び前払費用	40,545	40,768
その他流動資産	17,411	13,573
貸倒引当金	△1,267	△1,060
流動資産合計	288,871	257,000
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	392,177	393,179
建物及び構築物（純額）	13,032	12,715
機械装置及び運搬具（純額）	9,373	9,234
土地	18,397	18,473
建設仮勘定	12,923	3,974
その他有形固定資産（純額）	2,726	4,123
有形固定資産合計	448,632	441,701
無形固定資産		
その他無形固定資産	4,377	4,381
無形固定資産合計	4,377	4,381
投資その他の資産		
投資有価証券	164,110	160,030
長期貸付金	17,328	16,872
退職給付に係る資産	673	655
その他長期資産	28,606	31,414
貸倒引当金	△1,336	△1,320
投資その他の資産合計	209,381	207,652
固定資産合計	662,390	653,735
資産合計	951,261	910,735

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	57,836	53,072
短期借入金	86,423	57,619
未払法人税等	1,711	2,074
独占禁止法関連損失引当金	3,783	834
備船契約損失引当金	15,135	7,461
その他の引当金	2,902	2,931
その他流動負債	111,559	61,049
流動負債合計	279,352	185,042
固定負債		
社債	10,000	7,000
長期借入金	405,706	433,208
繰延税金負債	9,633	7,292
再評価に係る繰延税金負債	1,174	1,174
役員退職慰労引当金	894	406
株式給付引当金	19	16
特別修繕引当金	12,251	11,077
退職給付に係る負債	6,228	6,185
その他固定負債	44,767	46,071
固定負債合計	490,675	512,433
負債合計	770,028	697,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,457	75,457
資本剰余金	1,383	14,164
利益剰余金	16,692	33,077
自己株式	△2,381	△2,378
株主資本合計	91,152	120,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,414	982
繰延ヘッジ損益	2,999	△1,894
土地再評価差額金	4,655	4,634
為替換算調整勘定	4,063	△5,085
退職給付に係る調整累計額	△3,710	△3,428
その他の包括利益累計額合計	12,423	△4,791
非支配株主持分	77,657	97,729
純資産合計	181,233	213,259
負債純資産合計	951,261	910,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	416,129	372,396
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	396,896	332,247
売上総利益	19,233	40,148
販売費及び一般管理費	31,555	29,083
営業利益又は営業損失(△)	△12,321	11,065
営業外収益		
受取利息	737	625
受取配当金	782	1,419
持分法による投資利益	—	6,643
為替差益	3,651	—
その他営業外収益	1,527	1,329
営業外収益合計	6,698	10,018
営業外費用		
支払利息	4,136	5,183
持分法による投資損失	10,728	—
為替差損	—	1,833
その他営業外費用	841	693
営業外費用合計	15,706	7,710
経常利益又は経常損失(△)	△21,329	13,373
特別利益		
固定資産売却益	2,301	2,556
関係会社清算益	239	2,954
その他特別利益	194	1,183
特別利益合計	2,735	6,694
特別損失		
減損損失	279	289
関係会社清算損	—	248
その他特別損失	204	246
特別損失合計	483	784
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,077	19,283
法人税、住民税及び事業税	1,464	2,412
法人税等調整額	2,806	△726
法人税等合計	4,270	1,686
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,347	17,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,233	1,285
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,581	16,311

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,347	17,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,002	△3,489
繰延ヘッジ損益	△484	△2,708
為替換算調整勘定	5,963	△7,260
退職給付に係る調整額	41	214
持分法適用会社に対する持分相当額	8,021	△4,158
その他の包括利益合計	15,544	△17,401
四半期包括利益	△7,802	195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,541	△881
非支配株主に係る四半期包括利益	1,739	1,076

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,077	19,283
減価償却費	20,466	21,988
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△625	△29
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△42	17
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	76	171
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△928	△487
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△301	△1,155
事業再編関連損失引当金の増減額(△は減少)	△557	—
独占禁止法関連損失引当金の増減額(△は減少)	△838	△375
備船契約損失引当金の増減額(△は減少)	△10,059	△7,674
受取利息及び受取配当金	△1,519	△2,045
支払利息	4,136	5,183
為替差損益(△は益)	△2,770	△1,160
減損損失	279	289
持分法による投資損益(△は益)	10,728	△6,643
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,254	△2,555
関係会社清算損益(△は益)	△239	△2,706
売上債権の増減額(△は増加)	11,696	△168
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,481	2,393
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,383	△3,909
その他	△3,547	△150
小計	△19,279	20,265
利息及び配当金の受取額	2,013	2,781
利息の支払額	△4,128	△6,399
備船解約に伴う支払額	△1,450	△51,774
独占禁止法関連の支払額	—	△2,573
法人税等の支払額	△3,406	△1,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,250	△39,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,226	△3,765
定期預金の払戻による収入	42,532	4,618
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△78,655	△926
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	855	583
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△142
有形固定資産の取得による支出	△67,823	△52,150
有形固定資産の売却による収入	61,576	40,180
無形固定資産の取得による支出	△388	△495
長期貸付けによる支出	△470	△542
長期貸付金の回収による収入	546	427
その他	170	△1,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,882	△13,265

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50,136	△33,225
長期借入れによる収入	27,932	60,516
長期借入金返済等に係る支出	△25,993	△29,761
社債の償還による支出	△50,189	△1,809
非支配株主への配当金の支払額	△668	△456
非支配株主からの払込みによる収入	50,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△265	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	33,241
その他	93	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,046	28,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,812	△115
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△16,274	△24,494
現金及び現金同等物の期首残高	158,072	138,040
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	118
現金及び現金同等物の四半期末残高	141,798	113,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、連結子会社KLKGホールディングス株式会社の株式を一部売却したことにより、資本剰余金が12,662百万円増加しています。

これを主な要因として、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が14,164百万円となっています。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社及び在外持分法適用会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しています。IFRS第16号の適用により、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が1,405百万円減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	131,968	41,998	225,355	16,807	416,129	—	416,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	0	3,724	24,492	28,296	△28,296	—
計	132,048	41,998	229,079	41,300	444,425	△28,296	416,129
セグメント利益又は損失(△)	2,090	1,641	△23,071	990	△18,349	△2,979	△21,329

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,979百万円には、セグメント間取引消去△61百万円と全社費用△2,918百万円が含まれています。全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	116,321	43,812	194,931	17,331	372,396	—	372,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	4,085	24,660	28,750	△28,750	—
計	116,324	43,812	199,017	41,991	401,146	△28,750	372,396
セグメント利益又は損失(△)	197	4,603	10,452	695	15,949	△2,576	13,373

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,576百万円には、セグメント間取引消去△14百万円と全社費用△2,561百万円が含まれています。全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

3. 補足情報

最近における四半期ごとの業績の推移(連結)

2020年3月期

	第1四半期 2019年4月～ 2019年6月	第2四半期 2019年7月～ 2019年9月	第3四半期 2019年10月～ 2019年12月	第4四半期 2020年1月～ 2020年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	183,312	189,083		
営業損益	4,052	7,012		
経常損益	2,713	10,659		
税金等調整前四半期純損益	8,567	10,715		
親会社株主に帰属する 四半期純損益	7,779	8,531		
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	83.41	91.47		
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	931,816	910,735		
純資産	208,777	213,259		

2019年3月期

	第1四半期 2018年4月～ 2018年6月	第2四半期 2018年7月～ 2018年9月	第3四半期 2018年10月～ 2018年12月	第4四半期 2019年1月～ 2019年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	212,177	203,952	222,368	198,233
営業損益	△13,370	1,048	3,047	△15,462
経常損益	△17,095	△4,233	△6,098	△21,506
税金等調整前四半期純損益	△16,952	△2,124	△3,024	△77,321
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△19,272	△5,308	△6,372	△80,234
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	△206.63	△56.92	△68.32	△860.22
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	1,024,770	1,037,415	992,148	951,261
純資産	280,345	284,603	264,012	181,233